



2019年度 年主題「ことばに満たされて～ひびきあう」

1・2歳児 6月主題 「動き出す」

月のねがい

- ◎保育者のさんびや祈りの言葉に心を合わせようとする
- ◎わらべ歌や手遊びを通して言葉のリズムを楽しむ
- ◎主張やこだわりを認めてもらいながら生活する
- ◎保育者や友だちに興味、関心をもって、関わる

3・4・5歳児 6月主題 「関わり合う」

月のねがい

- ◎神さまがつくられた世界を知る
- ◎砂・泥・水に触れて遊ぶ中で心地よさを味わう
- ◎自分でしたい事が増え、楽しさを感じるとともに、葛藤も感じる



美味しいと感じること

日々、給食を食べる子どもたちの様子は様々です。おしゃべりを楽しみながら美味しく食べる子、苦手なものが皿に乗っていて苦戦している子。できれば何でも美味しくパクパクと食べてほしいのですね。でも、味覚も個々で違い、それまでの食に関する環境も違っていたり、美味しく食べるどころか、給食の時間がとても苦痛になっている子もいるのが現実です。

5月のある給食の時間のこと。それまでは食べられないものがいろいろとあって、残すことの多かった5歳のEくんが、なんと『美味しい～！』と声に出しながらソーメン汁を食べきっていました。お椀を空っぽにし満足そうなE君を見て、涙が出るほど嬉しくなりました。食事を美味しく頂けることは、なんて素敵なことでしょう。園での遊びが活発になり、身体も動かしてよく遊ぶようになったE君です。心も体も成長して、みんなで食べる給食が美味しいと感じられるようになったのだと思いました。

6月には3才以上児のクラスで給食試食会が予定されています。子どもたちが、先生や友だちとどんな会話をしながら給食を食べているのか見ていただきたいと思います。今はまだ、好き嫌いがあって給食が進まない子ども、大丈夫です。友だちと遊ぶことが楽しくなり、身体を動して積極的に遊ぶことができるようになってきたら、給食もきっと『美味しい～！』と言って完食していくことでしょう。美味しく食べることが、身体だけでなく心の成長にも支えになってくれること間違いなしです。 園長



今月の聖句 「光は正しいものために まかれている」

詩篇97：11

「ひかりはただい者のためにまかれている。」詩篇97：11：協会訳
「光は、神様を敬う者のために蒔かれます。」リビングバイブ訳

「光」。それは地球上の全ての被造物に恵みもたらす神のプレゼントです。
1、光は人を導く働きをします。光があるから人も動物も行動できます。
2、光は生産します。同化作用によって動物や人間に必要な糧をもたらします。
3、光は地球を暖めます。人類を始め、全ての生物が生存できる環境を与えます。
4、光は人を導きます。

以上、光の特性を列挙しましたが、1～3は万人にお与えられる公平な恵み。4は求める者に与えられる特別な種です。神はひとの心に諸特の種を植えて、収穫されます。この種は人を愛する心、平和を愛する心、死に打ち勝つ心を与えます。寛容、柔和、自制の心を与えます。4番目の役目こそが人間だけが共有する宝です。これは無関心では得られません。意識的に求める者に与えられます。「求めよ、さらば与えられん。探せ、さらば見い出さん」です。

牧師・前理事長 池田公栄



きゅうしょくのせんせい

きゅうしょくのおだかせんせい
ほいくえん
やめちゃうんだって
けっこんして
だんなさまに
おいしいの
つくってあげるんだって
だんなさまが
ほいくえんに
たべにきてくれれば
いいのよね

望月榮里（6歳）

6月の行事予定

1日(土)	家族の日参観(3才以上)
2日(日)	弁当日
5日(水)	弁当日
12日(木)	歯科検診(全園児)
13日(木)	給食試食会(5才児)
20日(木)	給食試食会(3・4才児)
30日(日)	父母会ゴミ拾い奉仕作業

7月の行事予定

2日(火)	海遊び(3才以上)・弁当日
5日(金)	プール遊び(市営プール)
9日(火)	プール遊び(市営プール)
10日(水)	海遊び(2才児)
13・14日	お泊り保育(年長児)
16日(火)	誕生会(2才以上児6～8月)
17日(水)	弁当日
19日(金)	一学期終園日(1号午前保育)

自律ある育ち

今年もあつという間に梅雨に突入です。先日の屋久島の大雨には驚かされましたが、例年の如く、暑さにもまた注意が必要なようです。地を潤す恵みの雨も長く続くウツリザリですが、園では雨もまたお友だち。水たまりや葉っぱの滴だけで、わくわくした時間を過ごせます。少しずつ園生活に慣れてきた子どもたちにも、神様からいただいた生命の輝きが溢れてきます。またも凄惨な事件が起こってしまいました。あまりにも身勝手、利己的な道徳の凶行にみえます。なぜ無事の子とも若く父親が犠牲にならなければならなかったのか、怒りを隠せません。自分の不幸を社会への復讐によって清算したとすれば、理不尽な思いが募るばかりです。唯々、残された家族の方々に大いなる慰めを願うだけです。

フランスの小さな村での逸話です。小さなドブ川の流れるが側の土手をめぐって崖を作り、子どもが落ちてケガをしました。日本ならば当然、すぐに苦情が殺到し、行政の責任とやらで、住民が何かをするということはないのが普通でしょう。ところが、この村の人たちは、その土手を毎日使うのは役人ではなく、自分たちの子どもなのだから、まず手を打つべき主体は自分たちであると考えました。木箱をばらして柵を作り、大きな石を引きずって崖つづぶち置き、子どもたちに流れのあることをよく見せたそうです。そこまでは危険がつきものであることも教えた。さて私たちの社会はどうでしょう。道で転べば道路管理者が悪い、成績が伸びないのは学校が悪い、景気が悪ければ政治が悪い、給料が上がらないのは経営者が悪い、都合の悪いことは自分以外の誰かのせい、責任や賠償を請求すべきだという風潮ではではないでしょうか。そこに子どもたちの幸福な未来はあるのか、私たちはよく考えなければなりません。

さて、子どもたちはよく考えなければなりません。朝の礼拝や体操にも落ち着きを感じられます。それぞれに集団の中での自分というものにも何かを感じてきています。日々の経験から得る「驚き」や「気づき」が興味を上げていきます。「先生、見て！来て！」と、自分の存在を認めて欲しいと願う気持ちこそ、自律ある育ちの原動力ではないでしょうか。ここにきて、朝夕の寒暖の差もあり、体調を崩す子どもたちも多く見られます。また、気候的には様々な感染症に罹りやすくなります。どうぞ早寝・早起き・朝ごはんを元気に登園できますようご協力お願いいたします。

学園長

子どもと一緒に遊ぼう！Ⅱ “吹く遊び”

乳児期から幼児期にかけてかわいらしい発声や喃語、そして意味ある言葉が増えていくことは、ご両親を含め養育に携わる私たちにとても大変嬉しく、愛おしさが増す大事な成長の一つです。子どもにとっても、発声することによって養育者が反応してくれることは大きな喜びになりますし、更なる発声意欲につながっていきます。発声・発語のための機能の発達には、お父さんお母さんの語りかけ(言葉のシャワー)が何より大事ですが、その他にもほっぺ等お口周辺の筋肉の発達と舌の筋肉の発達、そして呼吸をコントロールする力も大事な要素になります。そこで今回はこれらの発達を促す“吹く遊び”をご紹介します。

- ①ラッパ…乳幼児用玩具に必ず入っているアイテムです。ラッパは赤ちゃんの産声と同じ「う」の音色を奏でるそうです。息をはいても吸っても音が出るので、自分がしていること(息をはく)の成功感も子どもたちは体験できています。
- ②風車…たくさん息を吹いたら、吸う息の量も増えます。深呼吸の練習にもなり呼吸筋が強化されていきます。
- ③シャボン玉・巻笛・パイプ吹きボール…ゆっくり吐いたら大きいシャボン玉ができること、巻笛を息をコントロールしながらゆっくり伸び縮みさせること、パイプ吹きボールは強すぎず弱すぎずなど、吐く息を意識的にコントロールさせることで口周辺の筋力調整もできていきます。



④ハモニカ…1歳6か月前後から楽しめます。息を吸って、はいて、様々な音色を楽しむことができ、自分の呼吸が音色に変化していく楽しさを体験できます。呼吸のコントロール力がついて、発語意欲も高まります。

このように、吹く遊びも楽しいものです。子どもの前髪に、優しく息を吹きかけてあげると子どもはとっても喜びます。神さまが人間を創造するときに使った方法に似て、生命力を与える素敵な交わりです。“吹く遊び”簡単なことから始めてみましょう。 木口屋恵子